

第 1 回アドバイザー会議における委員意見への対応一覧表（※ご意見の詳細については別紙議事録参照）

No.	分類	意見概要	対応	体系図 の修正
1	全体	・ 法律や条例で規定された部分は、「男女共同参画」の言葉を使わざるを得ないものの、切り替えられる部分は「ジェンダー平等」とした方が良いのではないかと。 ・ あらゆる人が平等・対等・公正に扱われる社会という意味での「ジェンダー平等」の表現が、今の時代にはより適切である。	・ 法律や条例で規定されない部分について、特定の性別に限定しないものは、「ジェンダー平等」の表現に変更し、男女いずれかの性別への偏りを解消し、対等な参画を促すべき分野においては、引き続き「男女共同参画」の言葉を使用することとして整理しました。【参考資料 別紙】	有
2	その他	・ 若年女性の都市圏への流出の実態を捉えるため、若者回復率の分析を検討いただきたい。	【参考資料 別紙】	
3	その他	・ 特定の領域に限らず、女性が生きやすくて、暮らしやすい、居心地が良いとか、女性が社会で色々な活動をするに対して、総合的に支援していくことが必要である。	・ 女性だけでなく、生きにくさを抱える男性や性的マイノリティ等も勘案し、計画目標に反映しました。	有
4	横断的視点①	・ 「主要領域」の文言に難しい印象を受けた。 ・ 総がかりで取り組む必要があることを強調することで横断的視点が生きてくると思うので、「家庭・職場・学校・地域を挙げた男女共同参画推進」のような表現としてはどうか。	・ 「家庭・職場・学校・地域を挙げた総がかりでの男女共同参画推進と相互の取組効果の波及」に改めました。	有
5	横断的視点③	・ PDCAサイクルの表現については、日本語で「目標指標の設定と効果検証の徹底」とするなど、英語の文字を使わない表現が良いのではないかと。	・ 「効果的な目標指標の設定と結果検証の徹底」に改めました。	有
6	横断的視点③	・ PDCAではなくOODAを取り入れてはどうか。 ・ 個別事業の展開にあたってはOODA的に実施するという書き込みを検討してはどうか。	・ 具体の個別事業を定める際には、OODA的な考えを取り入れることについて検討してまいります。	
7	基本目標Ⅲ	・ 先頭に「個人」という言葉を入れて、「個人・家庭生活～」とするなど、シングルが主流の社会になっている現状を視野に入れた表現に変えてもいいのではないかと。	・ 先頭に「個人・」を加えました。【参考資料 別紙】	有
8	具体的施策(1)	・ 高齢者や管理職層の男性への意識改革の取組について、新たに具体的施策を立てるか、個別事業の中に関連する取組を位置付けるか検討いただきたい。	・ 具体的施策(2)、(3)を「(3)教育・保育の場でのジェンダー平等意識の醸成」として集約し、新たに、「(2)固定的な性別役割分担意識を解消するための広報・啓発」を追加しました。 ・ 高齢者や管理職層の男性への意識改革の取組については、具体的施策(2)の個別事業において、関連する施策を検討してまいります。	有
9	具体的施策(2),(3)	・ 学校教育の文脈において具体的施策(2)、(3)が似通っており、(2)に集約できるのではないかと。		
10	具体的施策(2),(3)	・ 具体的施策(3)のキャリア教育の推進について、地域・家庭に波及させる施策とされているが、どのように取り組まれるのか、あまりイメージが湧かない。 ・ 具体的施策(2)においても地域・家庭へ波及するような施策を検討されてはどうか。	・ 個別事業において、関連する施策を検討してまいります。	
11	具体的施策(2),(3)	・ 高校性を巻き込むことで、地域の若い世代が参画できてくるのではないかと。 ・ 学校の範囲については、小中高から近隣の大学、国公立の別を問わず幅広く捉えて、色々な活動の可能性を広げていただきたい。	・ 個別事業において、関連する施策を検討してまいります。	
12	基本的施策4	・ 様々な困難な状況が複合的に起こっている女性を想定し、本項にも女性支援新法の位置づけが必要である。	・ ご指摘のとおり改めました。	有

No.	分類	意見概要	対応	体系図 の修正
13	具体的施策(9)	・ひとり親家庭の困窮防止や困窮対策について、具体的施策に書き込んではいかがでしょうか。	・「生活困窮等の困難な問題を抱える人への支援」に改めるとともに、個別事業において、関連する施策を検討してまいります。	有
14	具体的施策(10)	・「男女共同参画社会の実現に向けた～」とした方が適切である。	・No.1の修正を含め、「ジェンダー平等の実現に向けた地域環境整備」に改めました。	有
15	基本的施策5	・アンケートの回収率は31.2%ということで、ワーク・ライフ・バランスという観点では、20～40代の声が大事だと思うが、その年代の回答率が低いなと感じた。	・当該年代のニーズを捉えられるよう、事業所に向けたアンケートを実施します。	
16	基本的施策5	・「ワーク・ライフ・バランス実現の推進」とした方が適切である。	・ご指摘のとおり改めました。	有
17	基本的施策5	・女性活躍推進の条文に基づき、本項に同法の位置付けが必要である。	・ご指摘のとおり改めました。	有
18	具体的施策(11)	・時短勤務や育休取得等による評価や配属への影響が懸念されることから、そのような不安を解消するような従業員に対する評価、人材確保のあり方の見直し、管理職・同僚への意識醸成が必要である。（推進委員会委員の意見）	・個別事業において、関連する施策を検討してまいります。	
19	具体的施策(12)	・当たり前のことをしっかりやってもらうという意味で、「家庭における男性参画促進」又は「参画推進」といった表現としてはどうか。	・「家庭における男性参画の促進」に改めました。	有
20	具体的施策(14)	・「女性の意識向上」よりも「職場や社会の意識を変える」ことの方が優先度が高いと思われる。 ・「女性の能力発揮のための支援と職場・社会の意識変革」としてはどうか。	・職場や社会の意識を変えることについては、女性の能力発揮のための支援に含まれるものと整理し、「女性の能力発揮のための支援と管理職への積極的登用の推進」に改めました。	有
21	具体的施策(14)	・管理職への積極的登用の記述について、明確に具体的施策レベルで示したほうが良いが、個別事業に位置付けることも考えられる。		
22	基本的施策7	・女性活躍推進法において、職場に限らず、政治分野や地域での活動なども含めて女性の政策・方針決定過程への参画拡大の記述がある場合には、本項に同法の位置づけが必要である。	・同法に基づく国の財政上の措置である「地域女性活躍推進交付金」の関係資料や他市町の計画を研究したところ、同法の範囲には政治分野や地域活動への女性参画の推進が含まれると解されることから、基本的施策7、8に同法の位置づけを追加しました。	有
23	基本的施策8	・自治会に向けた取組を継続しつつも、並行して異なるルートで若い世代の地域住民の希望や声を吸い上げるような取組ができると良い。 ・個別事業には、NPOやボランティア団体などで活躍する若い世代の活動をキャッチして、巻き込んでいくような取組を入れていくことが大事である。	・個別事業において、関連する施策を検討してまいります。	